



PRESS RELEASE

# Giselle

新国立劇場

25<sup>th</sup>  
NEW  
NATIONAL  
THEATRE  
TOKYO  
ANNIVERSARY

ジゼル <新制作>  
新国立劇場バレエ団

Photo by Takuya Uchimura

NATIONAL  
BALLET  
OF JAPAN

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ  
新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : [shimizu\\_c4725@nntt.jac.go.jp](mailto:shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp)

## 見どころ *Highlights*

### 吉田都芸術監督が初めて演出を手掛ける！

吉田都芸術監督就任第2作目となる新制作は、自らが演出を手掛ける『ジゼル』です。英国ロイヤルバレエで長らく活躍したイギリス人振付家のアラスター・マリオットとともに、19世紀ロマンティック・バレエ不朽の名作を新しく生まれ変わらせます。

吉田監督がこの作品に取り組むにあたって目指すのは、演劇的に深みのある舞台。2021/2022 シーズンで新制作されたピーター・ライト版『白鳥の湖』と同様に、「ダンサーたちには演じることの醍醐味を感じてほしい」と語っています。

リハーサルではそれぞれのキャラクターの人物像から物語のバックグラウンド、そして役柄の一人ひとりにどういった感情の動きがあるのかなど、クリアに伝えられながら進んでいます。

伝統的な演出をリスペクトしながらも、各キャラクターの造形が際立つ新国立劇場バレエ団オリジナルのジゼルにぜひご注目ください。



### 装置・衣裳も新たに一新！物語が際立つ舞台美術



衣裳の試作品を確認中の吉田監督とディック・バード

ヨーロッパのキリスト教と土着の文化の狭間にある世界観を表現したディック・バードの舞台美術も大きな見どころです。想定されている時代について絵画などリサーチを深く行い、その年代に忠実なデザインを踏まえつつ、キャラクターたちの役柄などに合わせ吉田監督と話し合いを重ねながら形づくられていきました。特に印象的な第2幕の舞台装置はリトアニアの「十字架の丘」に着想を得てデザインされ、ジゼルと同じように亡くなってしまった沢山の若い女性たちの墓が立ち並びます。

こうした舞台装置・衣裳からも『ジゼル』という美しくも悲劇的な物語がリアリティを持って伝わるはずです。

## ものがたり *Story*

村娘ジゼルは、恋人アルブレヒトが実は貴族で婚約者もある身と知って衝撃を受け、錯乱のうちに死んでしまう。

後悔の念にうちめされたアルブレヒトはジゼルの墓を訪れる。そこは若くして亡くなった乙女の精霊であるウィリたちが支配する夜の森。ウィリたちにとらえられ死ぬまで踊り続けるよう命ぜられたアルブレヒトを、ウィリとなったジゼルが身を挺して守り通す。

Photo by Takuya Uchimura



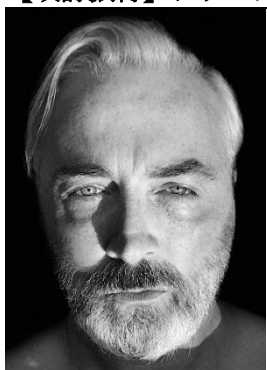
## スタッフ Staff

### 【演出】吉田 都 Production by YOSHIDA Miyako



9歳でバレエを習い始め、1983年ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞受賞。同年、英国ロイヤルバレエ学校に留学。84年、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエ（現バーミンガム・ロイヤルバレエ）へ芸術監督ピーター・ライトに認められて入団。88年にプリンシパル昇格。95年に英国ロイヤルバレエへプリンシパルとして移籍、2010年に退団するまで英国で計22年にわたり最高位プリンシパルを務める。日本国内では1997年の開場記念公演『眠れる森の美女』をはじめ、新国立劇場バレエ公演での99年『ドン・キホーテ』『シンデレラ』、2000年『ラ・シルフィード』、04年『ライモンダ』ほか、数多くの公演に主演している。ローザンヌ国際バレエコンクール審査員を務めるほか、後進の育成にも力を注いでいる。バレリーナとしての功績と共にチャリティ活動を通じた社会貢献が認められ、04年「ユネスコ平和芸術家」に任命される。12年には国連 UNHCR 協会国連難民親善アーティストに任命。20年9月より新国立劇場舞踊芸術監督。01年芸術選奨文部科学大臣賞、06年英国最優秀女性ダンサー賞、11年第52回毎日芸術賞など受賞多数。07年に紫綬褒章並びに大英帝国勲章（OBE）受賞、17年文化功労者、19年菊池寛賞。

### 【改訂振付】アラスター・マリOTT Staging and additional choreography by Alastair MARRIOTT



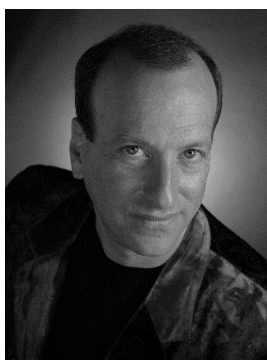
1988年に英国ロイヤルバレエに入団、92年ソリスト昇格。2003年よりプリンシパル・キャラクター・アーティストとなり、振付家としての活動を始める。ロイヤルバレエではフレデリック・アシュトン、ケネス・マクミランの振付作品や古典などに幅広く出演し、19年に振付に専念するため退団。ロイヤルバレエのために7つの一幕作品を振り付け、最新作である19年『アンノウン・ソルジャー』は、オリヴィエ賞候補となった。ロンドンの舞踊批評家協会最優秀クラシック振付家賞に3度ノミネートされ、15年『ツァイトガイスト』でロシアのゴールデン・マスク賞候補となる。英国ロイヤルバレエ学校でも3作品を振り付け、英国ロイヤルオペラ『ロシア皇后のスリッパ』でも振付を手掛けた。他に10年のロイヤル・バラエティー・パフォーマンスのためのパ・ド・ドウの振付や、ダーシー・バッセルへの『キス』『赤い靴』の振付も手掛け、12年のロンドン・オリンピックの閉会式ではクリストファー・ウィールドンとも協働した。近年は、アンソニー・バンクス演出『アフター・ミス・ジュリー』でヘレン・ジョージへの振付を手掛ける。

### 【美術・衣裳】ディック・バード Set & Costume Designer: Dick BIRD



ディック・バードがこれまでに手がけたオペラのデザインは『中国のニクソン』『ガラントウリーズ』『ミカド』（スコティッシュ・オペラ）、『オテロ』（ウィーン国立歌劇場）、『ストリート・シーン』（テアトロ・レアル）、『アンナ・ボレーナ』『真珠採り』（メトロポリタン歌劇場、イングリッシュ・ナショナル・オペラ）、『湖上の美人』『花火師の娘』（英国ロイヤルオペラ）、『ベアトリスとベネディクト』（オペラ・コミック座）などがある。バレエでは『くるみ割り人形』『アラジン』（バーミンガム・ロイヤルバレエ）、『ドラゴン・クエスト』『くるみ割り人形』（スターダンサーズ・バレエ団）、『夏潮』（サラソタバレエ）、『ラ・バヤデル』（Kバレエカンパニー）、『カンタヴィルの亡霊』（イングリッシュ・ナショナル・バレエ）などを手掛けている。その他演劇では、『ハムレット』『ラ・グランド・マージ』（コメディ・フランセーズ）、『十二夜』『テンペスト』『あわれ彼女は娼婦』（ポーランド劇場）や、UKシアターアワードでベストデザイン賞を受賞した『未来は今』（ナフィールド・サウサンプトン劇場/リバプール・エブリマン劇場）をデザインしている。新国立劇場バレエ団では、『火の鳥』と『アラジン』の装置デザインを手掛けている。

### 【照明】リック・フィッシャー Lighting Designer: Rick FISHER



フィラデルフィア生まれ。2度のオリヴィエ賞のほか、ブロードウェイで上演された『インスペクター・コールズ』『ピリー・エリオット』でトニー賞受賞。ロンドンでの『赤ずきん』『ラ・マンチャの男』『ムード・ミュージック』『レント』『サニー・アフタヌーン』『炎のランナー』『ユダの接吻』『ウェイスト』『ピーター・パン』などの他、『ドン・カルロ』『蝶々夫人』（ロサンゼルス）、『椿姫』（オマーン王立歌劇場）、『紫禁城』『ヴェニス商人』『オテロ』（シンガポール）、『王様と私』（パリ、シカゴ）、『スウィーニー・トッド』（パリ、ヒューストン、サンフランシスコ）、『ザ・オーディエンス』（ブロードウェイ）、ディズニー『ノートルダム大鐘』（ベルリン）、サンタフェ・オペラでの25作品以上を手掛けている。日本では『ピリー・エリオット』（ホリプロ）、『マタ・ハリ』（梅田芸術劇場）、『ファルスタッフ』『サロメ』（サイトウ・キネン）、『赤鬼』『THE BEE』（野田地区）、マシュー・ボーン『白鳥の湖』『インスペクター・コールズ』（アートスフィア）、『リア王』『ハムレット』（東京グローブ座）などに携わる。英国照明デザイナー協会会員。2017年カイロニ特別功労賞ナイト・オブ・イルミネーション賞。

**【指揮】 アレクセイ・バクラン Conductor: Alexei BAKLAN**



ウクライナ国立歌劇場指揮者。1987年、キーウ国立音楽院を卒業後、ウクライナ国立歌劇場にて指揮者を務める。95年、キーウ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場首席指揮者に就任。ウクライナ芸術功労活動家の称号を授与される。ウクライナ国立歌劇場では『マーメイド』『コッペリア』『ウィンナー・ワルツ』『海賊』、また、キーウ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場では『リゴレット』『ロメオとジュリエット』『ラ・バヤデール』『ジゼル』『白鳥の湖』『不死身のカシェイ』（リムスキー=コルサコフ）、『森の詩』（スコルリスキー）などのオペラ、バレエに指揮者・音楽監督として参加。ベートーヴェン『交響曲第9番』、ロッシニ『スターバト・マーテル』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』などを手がける。2003年、06年にはメキシコで、世界のバレエ界のスターたちを集めて行なわれたガラ・コンサート《バレエティッシモ》で指揮を務めた。06年にザグレブ国立歌劇場に招かれたほか、メキシコシティ国立バレエ団に度々招かれ、『ロメオとジュリエット』などの指揮を務める。また、ウクライナ国立歌劇場のドイツ、フランス、スペイン、スロベニア、ポルトガル、韓国、南アフリカ、メキシコ公演、およびキーウ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場イギリス公演（05、06、07年）に参加。新国立劇場バレエ団では08年以降、『ラ・バヤデール』『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』『シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント』『大フーガ』『テーマとヴァリエーション』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『ジゼル』などで指揮を務めている。

**【指揮】 富田実里 Conductor: TOMITA Misato**



国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『白鳥の湖』『不思議の国のアリス』を指揮した。

**キャスト Cast**

2022年10月	21日(金) 19:00	22日(土) 13:00	22日(土) 18:00	23日(日) 14:00	27日(木) 14:00
ジゼル	小野絢子	柴山紗帆	木村優里	米沢 唯	小野絢子
アルブレヒト	奥村康祐	井澤 駿	福岡雄大	渡邊峻郁	奥村康祐
ヒラリオン	福田圭吾	中家正博	木下嘉人	中島駿野	福田圭吾
ミルタ	寺田亜沙子	根岸祐衣	中島春菜	根岸祐衣	寺田亜沙子
2022年10月	28日(金) 19:00	29日(土) 13:00	29日(土) 18:00	30日(日) 14:00	
ジゼル	木村優里	池田理沙子	米沢 唯	柴山紗帆	
アルブレヒト	福岡雄大	速水涉悟	渡邊峻郁	井澤 駿	
ヒラリオン	木下嘉人	中家正博	中島駿野	中家正博	
ミルタ	中島春菜	寺田亜沙子	根岸祐衣	中島春菜	

<指揮>

アレクセイ・バクラン：10月21日、22日18:00、23日、27日、28日、29日13:00/18:00

富田実里：22日13:00、30日14:00

## <ジゼル>



**小野 絢子 ONO Ayako <プリンシパル>**

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほとんどの作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



**木村 優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>**

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』やF.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『コッペリア』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』で主役を踊り好評を博した。19年ファースト・ソリスト、22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。今回がプリンシパルとして初の公演となる。



**米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>**

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役にはW.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリスなどがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



**池田 理沙子 IKEDA Risako <ファースト・ソリスト>**

東京都出身。バレエスタジオ DUO で学ぶ。2009年ユース・アメリカ・グランプリ女性シニアの部銅メダルほかコンクール受賞歴多数。K バレエカンパニーを経て、16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し19年ファースト・ソリストに昇格。『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『ドン・キホーテ』やF.アシュトン『シンデレラ』、R.プティ『コッペリア』、D.ビントレー『アラジン』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』などで主役を踊り好評を博している。



**柴山 紗帆 SHIBAYAMA Saho <ファースト・ソリスト>**

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』、F.アシュトン『シンデレラ』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主役のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ王女、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなど主要な役柄を踊っている。21年ファースト・ソリストに昇格。イーグリング版『くるみ割り人形』は今回が初主演となる。

## <アルブレヒト>



### 井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.ブティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ビントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



### 奥村康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>

大阪府出身。母・地主薫に師事し、2009年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、13年『ドン・キホーテ』にて主役デビュー。16年よりプリンシパル。古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.ブティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』の主役のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル、F.アシュトン『シンデレラ』義理の姉などを踊っている。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞、22年芸術選奨文部科学大臣賞。



### 福岡雄大 FUKUOKA Yudai <プリンシパル>

大阪府出身。ケイ・バレエスタジオ、チューリッヒ・バレエ団を経て2009年新国立劇場バレエ団に入団。劇場デビューとなる『ドン・キホーテ』で主演し、以降ほとんどの作品で主役を踊る。12年よりプリンシパル。D.ビントレー『アラジン』、『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤルバレエにゲスト主演した。17、19年ダンス公演中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』でも高い評価を得る。11年中川鋭之助賞、13年舞踊批評家協会新人賞、18年芸術選奨文部科学大臣新人賞。



### 渡邊峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、R.ブティ『コッペリア』フランツ、中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』ゲーテ/シラー、「Shakespeare THE SONNETS」などを踊り好評を博している。



### 速水渉悟 HAYAMI Shogo <ファースト・ソリスト>

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、『竜宮 りゅうぐう』の主役のほか、『ラ・バヤデル』黄金の神像、『アラジン』ランプの精ジーン、『ロメオとジュリエット』ベンヴォーリオ、『ライモンダ』アブデラクマンなどを踊る。21年ファースト・ソリストに昇格。

2022/2023 シーズン 新国立劇場 開場 25 周年記念公演  
新国立劇場バレエ団



## ジゼル<新制作>

Giselle



令和4年度(第77回)文化庁芸術祭主催公演

**振付** ジャン・コラリ / ジュール・ペロー/マリウス・プティパ

**演出** 吉田 都

**改訂振付** アラスター・マリオット

**音楽** アドルフ・アダン

**美術・衣裳** デイック・バード

**照明** リック・フィッシャー

**芸術監督** 吉田都

**出演** 新国立劇場バレエ団

**指揮** アレクセイ・バクラン/富田実里

**管弦楽** 東京フィルハーモニー交響楽団

### 【公演日程】

2022 年 10 月 21 日 (金) 19:00  
10 月 22 日 (土) 13:00/18:00  
10 月 23 日 (日) 14:00  
10 月 27 日 (木) 14:00  
10 月 28 日 (金) 19:00  
10 月 29 日 (土) 13:00/18:00  
10 月 30 日 (日) 14:00

\*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、託児サービス、バックステージツアーは当面休止させていただきます。

\*ロビー開場は開演 60 分前、客席開場は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

\*10 月 27 日(木)は 1 階の一部に学校団体が入る予定です。

【会場】新国立劇場 オペラパレス (京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結)

【予定上演時間】約 2 時間 15 分 (休憩含む)

【ウェブサイト】 <https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/giselle/>

【チケット料金（税込）】

席種	S席	A席	B席	C席	D席	Z席*
料金（税込）	14,300円	12,100円	8,800円	6,600円	4,400円	1,650円

◆クラブ・ジ・アトレ会員の方は、公演最終日まで上記料金の10%OFFでお求めいただけます。

\*Z席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z席は、公演当日朝10:00から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1人1枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は、開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

【前売り開始日】

アトレ会員先行販売期間：2022年8月13日（土）10:00～16日（火）

新国メンバーズ先行販売期間：2022年8月14日（日）10:00～16日（火）

一般発売日：2022年8月20日（土）10:00～現在発売中

\*感染予防に対応した適切な距離を保つため、1階1列～2列の座席は販売いたしません。

\*通常の座席配置（1階1列～2列を除く）での販売を予定しております。

\*政府及び東京都の判断により、イベント収容率の制限に変更が生じた場合は、途中でチケットの販売を停止する場合がございます。

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <http://pia.jp/t/>（PC、携帯共通）【Pコード：511-609】

イープラス <http://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <http://l-tike.com/>（PC、携帯共通）【Lコード：31896】

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

チケットぴあ TEL：0570-02-9999

\*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡大防止対策をとって上演いたします。

新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

[https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23\\_017576.html](https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html)